

9月15日

テーマ：「主よ、そのとおりです」

聖書箇所：マタイの福音書15章21節～28節

◆今日のみことば

しかし、女は言った。「主よ。そのとおりです。ただ、小犬でも主人の食卓から落ちるパンくずはいただきます。」  
マタイの福音書15章27節

◆メッセージ

食事中、ご飯やおかずをこぼしてしまい、しかられることはありますか？ うちの子どもたちもパンを食べる時、テーブルの下は、小さなパンくずでいっぱいになってしまいます。

イエスさまから与えられるすばらしいプレゼントは、たとえ、そのかけら、パンくずのようなものであっても、そこには豊かな祝福があります。イエスさまの優しい気持ちは、テーブルからこぼれ落ちるほど、いっぱいです。

このイエスさまの優しさを信じて、イエスさまにお願いをしに来たお母さんがいました。「娘を苦しみから救ってください」と必死にお願いしました。でも、何だかこの時のイエスさまは、いつもとは違うお方みたいです。冷たい態度や言葉だなあとおもいませんか？ でも、それには理由がありました。



このお母さんは、ユダヤ人から見れば外国人。当時、外国人は「犬」と呼ばれ、神さまの優しさが届かないかわいそうな人と考えられていたんです。みんなにとって「犬」はかわいい大切な存在だけど、昔は悪い人のことを「犬」と呼んでいたんです。

このお母さんはイエスさまから、「小犬」と呼ばれましたが、イエスさまのことをきらいになったり、お願いをあきらめたりは絶対にしませんでした。イエスさまの前に必死に走って行って、ひれふして「主よ。私をお助けてください」。「主よ。そのとおりです。ただ、小犬でも主人の食卓から落ちるパンくずはいただきます」とイエスさまにお願いすることをやめませんでした。私はイエスさまから見たら、心がきたない「小犬」のような人間です。でもイエスさまの優しい気持ちは、私にもこぼれ落ちてくるはずですよ。そう信じて、イエスさまに必死にお願いしたいです。

このお母さんに、何があってもイエスさまをまっすぐに信じる心を与えてくださるために、イエスさまはわざと、冷たいと感じてしまう態度を取られました。そしてお母さんが信じたとおりに、イエスさまは苦しんでいた娘をいやしてくださいました。本当にイエスさまは、すばらしいお方だね。

◆お祈り

イエスさまの優しさが分からなくなっても、私たちがイエスさまの優しさを疑うことがないように、守ってください。どんな時でも、イエスさまの大きな優しさと大きな力を信じていくことができますように。

(長野福音教会牧師 高橋宣広)